

● ● ● ● ● 国 東 町 ● ● ● ● ●

生誕 130 年を記念して森清克先生の功績をたたえる会

国東町原区出身で、障害児教育を支えた森清克さんの功績をたたえる会が、9月20日(土)午前10時から区内の同氏遺徳顕彰碑の前で行われました。

森さんは、明治11年9月22日に原で生まれ、同33年獣医として従軍した日露戦争奉天会戦で両眼を失明して帰国。その後、同41年6月に同じ境遇に苦しむ人のために私財を投じて、現在の県立盲、聾学校の前進となる大分県盲聾学校を設立し、翌年から校長として昭和21年まで40年間学校経営に尽力されました。

会には、来賓の野田侃生市長、岡本美恵子県立盲学校長や、同区の皆さん約60人が出席。発起人代表の野田学さん、来賓の野田市長のあいさつ後、地域の郷土史に詳しい堤昭生さんが森先生についての講話を行いました。堤稔喜さん(国東小6年)が「森先生のように努力して、立派な人になりたいと思います。」と感想を発表し、森先生の遺徳を偲びました。



▲会終了後、記念撮影を行いました

松寿園で盆踊り大会

8月19日(火)午後7時から市立養護老人ホーム松寿園で、盆踊り大会が行われました。

地域の皆さんや市内の各団体の皆さんの参加でやぐらを囲んで3重、4重の踊りの輪ができ、市盆踊り口説き・太鼓保存会の皆さんによる口説きや太鼓のリズム輪が揺れ、賑やかな大会となりました。

地域の皆さんの協賛による「お楽しみ抽選会」や、入所者の皆さんとふれあい活動を行っている国東高校生徒の皆さんによるカキ氷の接待は、参加者に好評でした。



弥生のムラ・くにさき古代祭り2008

古代の人々の暮らしを感じ、体験し自然や環境への思いを深めてもらおうと、9月13日(土)・14日(日)の2日間、弥生のムラで「くにさき古代祭り2008」が開催されました。火起しや土器作りなどの体験コーナーや、古代玄米食の販売、ソーラーシステムを使ったミュージックライブなどが行われ、自然環境や地球温暖化対策について考える祭りとなりました。



▲カルチュラル・ツーリズム虹の樹主宰の金田信子さん(右)とGAIAネットワーク代表の日野雄策さんによるシンポジウム「古代からのメッセージ」が行われました



▲国内各地から集まった8組のミュージシャンによるミュージックライブも行われました

第7回くにさき演劇祭

8月31日(日)、午後0時30分から、第7回くにさき演劇祭がアストくにさきアストホールで行われました。

国東町の英ちゃん劇団が、社会問題を取り上げた「囲炉裏のある風景」を、国見町の国見田舎歌舞伎保存会が、平賀源内作「神霊 矢口渡 頓兵衛住家の段」を熱演。会場に訪れた約500人の観客から、迫真の演技に大きな拍手が送られました。



◀「囲炉裏のある風景」

▶「神霊 矢口渡 頓兵衛住家の段」

